

(前頁よりつづく)

堯舜孔子の道を明らかにし  
西洋機械の術を尽くす

なんぞ富國に止まらん何ぞ強兵に止  
まらん

大義を四海に布くのみ（原漢文）

といふ彼の七絶は、その一生を貫いた

抱負であり信念であった。

世のさまの移るも知らずいたずらに

案山子は弓を放たざりけり

という歌には、時勢を遠観し得ない有  
象無象への限りないもかしさがうつ  
ぼつとしているのを感じずにはいられ  
ない。

それでもなお、小楠の進歩的な開國  
論は、一部封建思想の過激派にとって  
壳国奴としか映らなかった。

折角明治新政府に登用されて参議の  
重職につき、その大経綸を具体化しよ  
うとした矢先に、刺客の襲うところと

なって、京都寺町通りの街頭に非命の  
最後を遂げねばならなかつたのであ  
る。

明治二年正月五日、歳六十一。宮部鼎藏も小楠と同じ上益城で七瀧

の産、もともとは医者であったが、剛毅なたちで薬さじを扱うよりも刀槍を

学ぶなどして志を勤王に傾け、吉田松  
蔭とは特に意氣投合して交友すこぶる  
厚かった。同志とともに各地に奔走し  
たが、元治元年（一八六四）六月五日、

京都三条の池田屋で、新撰組の急襲に  
遭い奮戦の末自刃して果てた。歳四十

池田屋騷動の名は最近特にラジオや  
テレビによつてポピュラーとなつてい  
る。

郷国道全線開通。

△24日▽★昭和三十九年（一九六四）立阿蘇青年の家の開所式が行なわれた

蘇山の第一火口が爆発し、南郷谷に降  
灰が多く、放牧の牛馬、二〇〇余頭が  
斃死した。

△27日▽★昭和二十四年（一九四九）天  
皇陛下が三十日まで、県下を巡幸され  
た。

△30日▽★明治六年（一八七三）白川県  
(現在の熊本県) 権令として安岡良亮  
が任命された。★明治十二年（一八八  
七）第五高等中学校が設立された（後  
の五高）。

△26日▽★昭和二十二年（一九四七）憲法・  
地方自治法施行。

△6日▽★昭和三十七年（一九六二）新  
市街で第一回露戦大祝勝会が挙行  
された。

△13日▽★昭和四十年（一九六五）三太  
房ダム完工。県引継ぎは昭和三十六年  
五月十六日。

△1日▽★明治四十一年（一九〇八）八  
代一人吉間の鉄道開通。★明治四十三  
年（一九一〇）大逆事件が起る。★昭  
和四十年（一九六五）県水産種苗セン  
ターが大矢野町に完成。

△10日▽★明治二十三年（一九四八）イ  
ギリス人、ハンナ・リデルが熊本市牧  
崎町に懲患者臨時救護所を設置。

△11日▽★昭和三十九年（一九六四）玉  
名平野の白石堰竣工。翌十四日、県

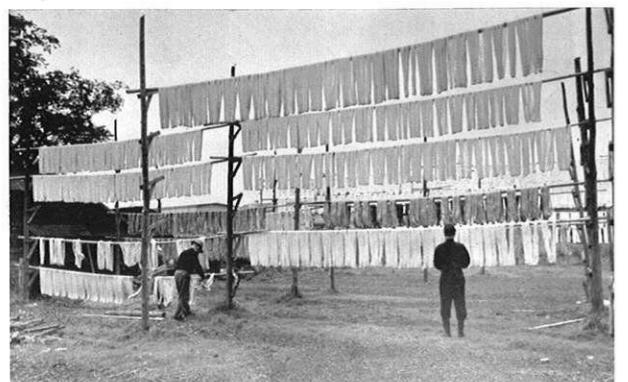
に初めて副知事を置く。

△16日▽★昭和三十五年（一九六〇）市  
房ダム完工。県引継ぎは昭和三十六年  
五月十六日。

△18日▽★昭和四十年（一九六五）三太  
房ダム完工。県引継ぎは昭和三十六年  
五月十六日。

### ■編集係より

明治百年にちなんで、広報くまもと  
では從来まで県政歳時記「くまもと・  
昔と今」、「くまもと点描」を別冊とし  
て発刊してきましたが、本誌では今回  
から「熊本の明治百年」と題して県政  
百年の歩みを六回にわたりて連載して  
みたいと思います。胎動する政治の変  
革や、歴史の歩みの中から生まれた数  
々の挿話にスポットを当てながら、熊  
本百年の航跡を確かめて見るのも大切  
なことでしょう。なお資料として「歴史ごよみ」もあ  
わせて掲載しますのでご利用下さい。



上・赤、黄、緑の色とりどりのパターンが面白い干し物



上・糸の染めつけは技術的に一番むづかしい仕業だ。



上・何10台といふはた織機の騒音の中で美しい肥後絣が出来上って  
いく。



右・民芸風な味わいの肥後絣

堅ろうで、素朴な味わいで知られる肥後絣の製造は、明治初期に初まったといわれる。従って百年近い歴史をもつてゐることになる。

最盛期の大正末期から昭和初期にかけては、県内30をこえる工場があつたが、不況や戦争の影響で次第に衰え今では川尻町の工場だけで生産が続けられている。

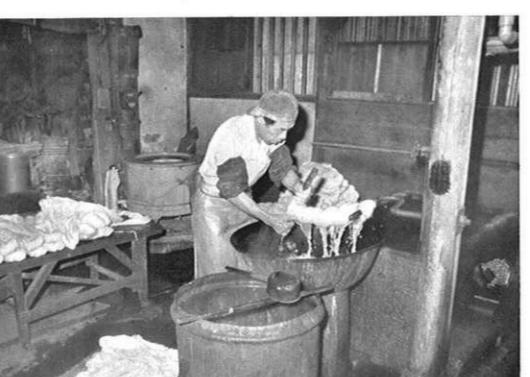
現在の年間生産量は約1万反。需要の殆んどは県内だが、一部は大阪や福岡、沖縄などに出荷されて、農山漁村の作業着などとして、根強い人気をもつてゐる。

最近では、時代にマッチした柄の工夫も進み、壁かけや、のれん、スマなどにも愛好されており、民芸品“肥後絣”としての将来にも大きな希望がもたれている。

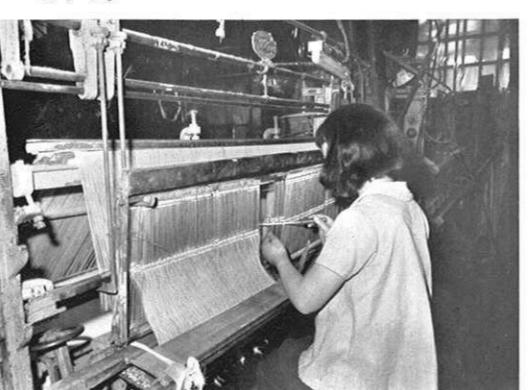
△1日▽★昭和二十二年（一九四七）憲法・  
地方自治法施行。

△6日▽★昭和三十七年（一九六二）新  
市街で第一回露戦大祝勝会が挙行  
された。

△13日▽★昭和三十九年（一九六四）玉  
名平野の白石堰竣工。翌十四日、県



上・染めた糸も、白糸も、機械にかける前にのり付  
けする。



上・タテ、ヨコの糸を織り込む簀（おさ）通し作業

名も熊本県から白川県と改称。

△16日▽★昭和三年（一九二八）JOG  
K（NHK熊本中央放送局）の初放送

が行なわれた。

△17日▽★明治五年（一八七二）明治天

皇が熊本巡視のため小島町にご着船、  
二十日鹿児島に向われる。

△20日▽★明治十五年（一八八二）徳富  
猪一郎（蘇峯）大江義塾を開く。

△23日▽★明治二年（一八六九）細州韶  
邦が知藩事になる。

△24日▽★昭和三十三年（一九五八）阿  
蘇山爆発、死者二名、負傷者二八名を  
出した。

△27日▽★昭和二十四年（一九四九）天  
皇陛下が三十日まで、県下を巡幸され  
た。

△30日▽★明治六年（一八七三）白川県  
(現在の熊本県) 権令として安岡良亮  
が任命された。★明治十二年（一八八  
七）第五高等中学校が設立された（後  
の五高）。

△26日▽★昭和二十二年（一九四七）憲法・  
地方自治法施行。

△6日▽★昭和三十七年（一九六二）新  
市街で第一回露戦大祝勝会が挙行  
された。

△13日▽★昭和三十九年（一九六四）玉  
名平野の白石堰竣工。翌十四日、県

に初めて副知事を置く。

△16日▽★昭和三十五年（一九六〇）市  
房ダム完工。県引継ぎは昭和三十六年  
五月十六日。

△18日▽★昭和四十年（一九六五）三太  
房ダム完工。県引継ぎは昭和三十六年  
五月十六日。